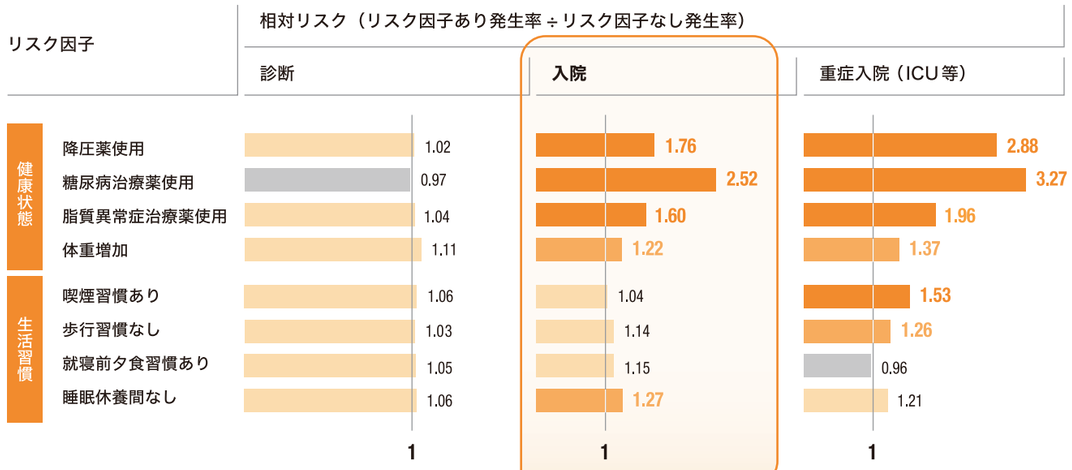
リアルワールドデータで示す
健康・生活習慣とインフルエンザの関係性



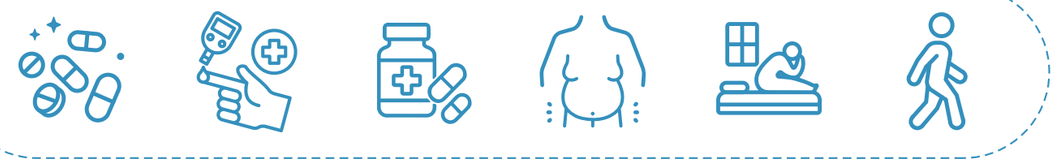
生活習慣病リスクを抑え、毎年訪れる流行の波に備える

毎年流行するインフルエンザは、身近な感染症である一方、
生活習慣病のある人は重症化に注意が必要です。
家庭内感染や前年の罹患状況に加え、健康状態・生活習慣が
重症化リスクに関連する可能性があります。

生活習慣病があると重症化しやすい傾向　生活習慣病リスクとインフルエンザの関係性をデータで分析



入院リスク（リスク因子がない人を１とした場合）



高血圧で治療中	糖尿病で治療中	脂質異常症で治療中	体重増加あり	睡眠休養感なし	歩行習慣なし
約1.8倍	約2.5倍	約1.6倍	約1.2倍	約1.3倍	約1.1倍

免責事項（ディスクレイマー）

本資料に記載されている内容は一般的な参考情報であり、医学的助言・診断・治療を代替しないため、健康に関する判断は医療機関にご相談ください。また、本資料の内容の正確性等は保証せず、本資料の利用により生じた損害については責任を負いません。加えて、商用利用か否かに関わらず、記載内容を利用する場合は、本資料に記載の出典を掲載してください。

出典：「インフルエンザ実態調査レポート 2026」October 2026（住友生命保険相互会社・株式会社 JMDC 発行）

あなたの未来を強くする 住友生命　JMDC

過去の感染状況や身近な環境も、インフルエンザの診断に関連

前シーズンの診断で比較する インフルエンザ診断の傾向



前シーズンに
風邪の診断あり
前シーズン風邪診断有無別
診断発生率（2024-2025 シーズン）



前シーズンに
インフルエンザの診断あり
前シーズンインフルエンザ診断有無別
診断発生率（2024-2025 シーズン）

今シーズンに
インフルエンザと診断された割合





機会接触の多さ（飲み会・外出）も感染の要因に



インフルエンザにおいては、
前シーズンに診断を受けたことで
対策意識が高まり、防御効果が
かかりやすさを上回った可能性。



対策行動
（ワクチン接種）



家族が多いほどインフルエンザと診断されやすい傾向

家庭内感染率（家族人数別）



手洗い・うがい等の基本的な感染対策が重要です

診断された1,000人のうち約４人が入院



診断 10% 10人に1人がインフルエンザと診断

入院
診断者の1,000人に約４人が入院
（診断者のうち、0.4% が入院に至っている）

重症入院
診断者の1,000人に約１人が
重症入院（ICU等）
（診断者のうち、0.1% が重症入院（ICU等）に至っている）



住友生命「Vitality」のご検討にあたっては、「設計書（契約概要）」「注意喚起情報」「ご契約のしおり－定款・約款」「申込内容控（兼解約返戻金額表）」を必ずご覧ください。

Copyright ©2026 Sumitomo Life Insurance Company, JMDC Inc. All rights reserved